

[ワン・ワード] cadre (単数形で複数扱いもある) (軍隊, 政党, 企業などの中核を成す) 幹部; 中核グループ. :

米軍では宇宙の重要性に伴ない、軍の教育課程の中に宇宙コースを設け、修了した人々が幹部 (cadre) になるようなキャリアパス

をつくっている。まだ出来て間もないようであるが、そのような課程に自衛隊も研修に参加できると有益であろう。

[ワン・ワード] stovepipe ストープの煙突、「縦割り」の米国的表現

米国では Transformation と称して、軍にとどまらず広い分野で革新、改革が進んでいる。その際、従来のシステムを言うのに、

stovepipe という言葉が好んで使われているようである。昨年の NASA の組織改編も Transformation の 1 つであろう。

2005.2 AIA UPDATE 世界最大のロケット・コンテスト

AIA がスポンサになっているチーム・アメリカ・ロケット・チャレンジがさらに強力に進む

AIA-sponsored Team America Rocketry Challenge heads to Orbit

(編注) 昨年に続き、中高校生のモデル・ロケット・コンテストが行われる。ペイロードとして生卵を積んで 60sec 後に地上に安全に回収するという課題。712 チームが名乗りを上げており、トップ 100 が表賞される。5 月 21 日が打上げ。米国ロケット協会が NASA, 米国物理学教師

協会、AIA 会員企業とのパートナーシップで実施する。昨年の DARPA の自律走行車の競争「グランドチャレンジ」など日本のロボコンを想起させる。

2005.2 AIA UPDATE

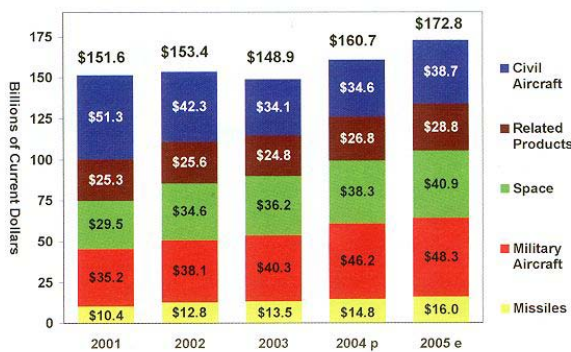
米国航空宇宙産業は増大、ダグラス AIA 会長は年末に報告

Aerospace Industry Growing, Douglas Tells Year-ender Audience

全体で 2004 年は 8% (\$12B) の増加、\$161B となった。この傾向は 2005 年も継続。名目売上数値 (current-dollar sales) としては、

史上最大。(2003 年は \$4.5B の減少であった。) 2004 年の新雇用も 18,900 人増加し、587,600 人となった。

Aerospace Industry Sales



2005 年 2 月 28 日 18:55 WIRED NEWS (2005/02/28)

ロケット燃料に含まれる有毒な化学物質、母乳からも

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/20050228303.html>

ロケット燃料に使われている有毒な化学物質である過塩素酸塩に関して、授乳中の米国女性の母乳に含まれる濃度がかなり高いという調査結果を、テキサス工科大学の研究チームが発表。米環境保護

局(EPA)は過塩素酸塩摂取に関するガイドラインを発したばかりだが、今回の調査結果によると、平均値でさえ新生児が摂取しても安全とされる量の 2 倍近くになっている。

2005 年 2 月 23 日 18:31 WIRED NEWS (2005/02/23)

ロケット燃料に含まれる有毒な化学物質:EPA がガイドライン

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/20050223302.html>

ロケット燃料に使われている有毒な化学物質である過塩素酸塩が水

源を汚染し、全米 15 州で牛乳とレタスの汚染が発見されたことを受

けて、米環境保護局(EPA)はこの物質の摂取上限値を発表した。環境保護団体は、この値が自分たちが要求してきた値より 25 倍も高い

として懸念を示している。

2005年2月23日 18:31 WIRED NEWS (2005/02/23)

米国のテロ対策は的外れ？ ——新刊レビュー(上)

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/20050223206.html>

航空機乗客が厳しいチェックを受ける一方で、主要港を通過する何百万個もの貨物コンテナのうち、検査を受けるのは 5%に満たない。米ABC放送の実験では、ウランをコンテナでトルコから輸送し見つか

ることなく米に届けられることが実証されている。——現テロ対策の欠点を指摘し、最新取組みを紹介する新刊書。

2005年2月23日 18:31 WIRED NEWS (2005/02/23)

盗難防止の切り札——識別情報を持つ液体マーカ(下)

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/20050223307.html>

『スマートウォータ』は、化学物質の組合せにより、100億通りにのぼる2進数コードを表現できる液体だ。盗品に塗布されていれば持主を突き止めることができるほか、皮膚や衣服に何ヶ月も残るため、容疑者

身体から検出された際は有罪の決定的証拠となりうる。同技術を犯罪者向けにアピールすることも奏功し、英では盗難件数が大幅に減っている。

2005年3月1日 10:00 日刊航空通信CLIP

代表取締役副社長に玉木貞一航空宇宙事業本部長

石川島播磨(IHI)役員人事、後任は渡辺康之副本部長

IHIは2月28日、本年4月以降、取締役および監査役ならびに執行役員の一部を変更することにつき、同日内定を発表。4月1日付で、航空宇宙事業本部関連では代表取締役副社長(兼)副社長執行役員に玉木貞一取締役(兼)常務執行役員・航空宇宙事業本部長が昇任し、後任の常務執行役員・航空宇宙事業本部長には、渡辺康之執行役員・航空宇宙事業本部副本部長が昇任する。

玉木代表取締役副社長は、昭和46年4月同社入社、平成11年7

月同社理事・航空宇宙事業本部副本部長(兼)防衛エンジン事業部長、12年6月に取締役・航空宇宙事業本部副本部長を歴任し、15年6月から現職に。

また、渡辺航空宇宙事業本部長は、昭和46年4月同社入社、平成13年7月理事・航空宇宙事業本部民間エンジン事業部事業部長、14年7月に理事・航空宇宙事業本部副本部長(兼)石川島精密鑄造(株)代表取締役社長を歴任し、15年7月から現職に。(抜粋)

2005年2月24日 10:00 日刊航空通信CLIP

三菱重工取締役副社長に前沢淳一常務取締役昇格

後任航空宇宙事業本部長は戸田信雄名航所長兼務

三菱重工業は4月1日付で、取締役副社長に前沢淳一常務取締役・航空宇宙事業本部長を発令した。後任の航空宇宙事業本部長は、戸田信雄取締役・名航所長が常務取締役に昇格の上、兼務することとなる。

▽取締役副社長(代表取締役)＝前沢淳一(旧職:常務取締役航空宇宙事業本部長(代表取締役))

▽常務取締役航空宇宙事業本部長兼名航所長(代表取締役)＝戸田信雄(旧職:取締役名航所長)

前沢取締役副社長略歴

昭和44年4月1日:同社入社、平成10年4月1日:名航副所長、11年6月29日:取締役・名航所長、14年4月1日:常務取締役・航空宇

宙事業本部長。

戸田航空宇宙事業本部長兼名航所長略歴

昭和44年6月2日:同社入社、平成11年6月29日:名航副所長、14年4月1日:名航所長、15年6月26日:取締役・名航所長。

なお、前沢取締役副社長は、取締役社長補佐、生産システム革新および生産技術に関する事項、特定事業の構造改革に関する社長特命事項、防衛事業に関する社長特命事項を担当、戸田常務取締役は、業務執行に関する取締役社長補佐、航空機および宇宙機器に関する事項を担当する。

また、4月1日付で、名航技師長に梶浦健治産業機器事業部副事業部長が発令された。

2, 500m化前の増枠可能性探りに課題洗い出し

NAA、民営化後の収益好調受け着陸料引下げを検討

成田国際空港(株)(NAA)の上子道雄常務は25日会見し、発着回数・旅客数・給油量が例年1月比として過去最高を記録した今年1月の運用実績を報告。A滑走路がほぼ能力いっぱい、B滑走路も容量の86%運用であることから、B滑走路2, 500m化が急務とし、それ以前の増枠可能性を探るため技術的課題洗い出しを開始した。また、株式会社化初年度の現時点での収益が好調なことを受け、着陸料引下げ内容や提案時期などを社内で議論中と語った。その他、フランクフルト空港を管理・運営するFraport社との空港間相互協力の覚書締結を報告。

※1月運用状況:1.発着回数1万5,695回(前年同月比5%増。うちA滑走路1万992回・1日平均365回。B滑走路4,703回・1日平均152回)。全体で1月としては過去最高、B滑走路は供用開始以来の過去最高を記録。旧正月が昨年1月22日、今年2月9日である影響で貨物便が同7%

増となっている。2.旅客数262万6,574人(同6%増。うち国際線日本人旅客同13%増、同外国人旅客同5%減)。日本人旅客の伸びは、昨年の鳥インフルエンザの影響とテロ風評被害による減少の反動とみられ、外国人旅客の減少は旧正月の日取りによるアジア人旅客の減少とみられる。3.給油量49万3,753kl。1月として過去最高の数値となった。

※発着枠増加の可能性について:A滑走路の発着回数13万3,207回、1日平均363.9回(昨年同年実績)は発着枠の98%となり、能力ギリギリの運用となっており、B滑走路も1月の数字で発着枠の86%を使用(1日176回中152回)。発着枠増加のためには、B滑走路の2,500m化が必要条件であり、それについて結論を出すことが先決である。それでも、発着枠を増加できる可能性があれば検討し、実現を図ることは重要と認識。その中で、1時間当りの発着回数を見直し、全体の発着回数20万回(地元と取決めた数値)の枠中で繁忙時間帯発着回数を増加できるかどうか、社内で問題意識を持ち、過去の作業の問題点洗い出し中。B滑走路の誘導路など諸要素が複雑に関連するため、至近的に結論を見いだせる問題ではないが、増加需要に対応するため、少しでも工夫していく。

※決算見通しと着陸料引下げ問題:中間決算時見通し(売上1,562億円・経常利益218億円)に公式な修正は加えていないが、1月までの売上は計画比5%増程度で進捗、見通し比5%増となる見込み。経常利益(中間期186億円)も、経費執行の抑制などにより、218億円を確実に達成して200億円台後半から300億円前後となるメドが

ついている。

初年度の業績好調を受け、着陸料引下げの議論に入っているが、引下げ額や時期、またその提案時期については初年度実績の数値確度が高くならなければ確定できない。実際には、4月～5月に確定する初年度決算状況を見て具体的検討となる。

※Fraport社との空港間相互協力に係る覚書締結:フランクフルト空港を管理・運営するFraport社とNAAは、98年に空港が直面する諸問題につき情報交換を目的とする定期会議を開始し、協調関係を構築してきた。以来、4回の会議を通じて信頼関係を醸成し、昨年の会議でFraport社から相互協力について具体的提案を受け、覚書締結に至った。2月3日に締結した覚書で両社は、1.空港運営上の情報交換、2.空港サービス促進、3.人事交流、会議の開催につき共同で取組むことに合意。Fraport社は2001年度に株式上場しており、07年上場を目指すNAAにとっては、IR活動、外国投資家に対する活動などのノウハウを得られると期待。また、上海空港コンサルティング業務を行うなど海外にも進出しているFraport社は、NAAがもつアジア圏を中心とした情報が活用できるとみられ、相互に得るものが大きいと考えられる。なお、NAAは英空港管理局(BAA)とニューヨーク・ニュージャージー・ポートオーソリティと人事交流を含めた相互協力関係を結んでおり、韓国空港公社にも相互協力を呼びかけ、覚書締結に向け交渉している。

上子常務は17日開港した中部国際空港につき、国内・国際線ターミナルが隣合わせに設置され、わかりやすい構造であると述べ、名古屋駅からのアクセス時間28分を高く評価した。また、商業施設については制限区域外施設に力を注ぎ、航空利用以外の来訪者を期待する中部のコンセプトは成田と異なっており、成田は航空利用者に制限区域内に極力早く入ってもらい、中で楽しませる方向に考えたといふ述べた。

総額7億円／機体製造とインテグレーションに専念

【セントルイス】ボ社は22日(現地時間)、スペースシャトルのメインエンジン製造などを手がけるロケットダイン・プロパルジョン・アンド・パワー部門(ロケットダイン※)を、プラット・アンド・ホイットニー(P&W)社に7億ドルで売却することで合意と発表。売却は、同部門のカリフォルニア州、アラバマ州、ミシシッピ州そしてフロリダ州の敷地と資産、および同施設に従事する従業員約3,000名が対象となる。ボ社は以前から、機体製造とインテグレーションという本業に専念する戦略を取ってきており(B787型機の製造では、従来はボ社内で製造していた主翼を三菱重工に委ねる)、ロケットエンジン部門は、パートナーシップを構築して伸ばすという方策を取った。今後、ボ社は打上げシステムとしての製造を続け、ロケットダインとのビジネス関係を継続していく。

ボーイング統合防衛システム部門のジム・オルボー社長兼CEOは「今回の契約は、ボーイング、ロケットダインの従業員および顧客、そしてP&W社にとって非常に有意義なものだ。P&W社は推進技術を活用したビジネスの世界的リーダーであり、マーキュリ、サタンVからスペースシャトルにまで提供したその技術力を最大限に生かすことのできる企業であると確信している」と述べた。また、P&W社のレイス・シェネバート社長は「(P&Wの親会社の)ユナイテッド・テクノロジーズ傘下の各企業はあらゆるビジネス分野で最新テクノロジーを提供しており、ロケットダインの豊富なテクノロジーは、われわれのビジネス

【日刊航空通信 編集後記】【宇宙開発利用特集】

部品供給体制の現状をJAXAやJASPA(まんでんプロジェクトの受皿会社)などに窺っております。品質保証やトレサビリティを実現させていくとのこと。このほか、打上げ間近に迫った運輸多目的衛星

ネスポーツフォリオに大きなプラスとなる。今後も、これまでロケットダインが提供してきた高いレベルのサービスを継続し、ボーイング、NASA、米国防総省や他の顧客との関係をより強固なものにしていく」と語った。

※)ロケットダイン

ロケットダインの中核ビジネスはロケットエンジン開発と製造で、スペースシャトルやデルタファミリのロケット打上げ機用ブースター・エンジン、ならびにミサイル・ディフェンス・システムズ向けの推進系システムを提供している。

ロケットダインは以前、ノース・アメリカン・アビエーションおよびロクウェル・インターナショナルが所有しており、主要ロケット推進プロバイダとして半世紀以上にわたり業界をリードしてきた。第2次世界大戦終戦以降、ロケットエンジン開発、テスト、打上げで常に最前線にあり、1950年代には米初の衛星を軌道に載せたほか、マーキュリ、ジェミニ、そして人類が初めて月に着陸したアポロプログラムで重要な役割を担った。1980年代には、スペースシャトルのメインエンジンを製造したほか、アトラスやデルタの打上げ機にブースター・エンジン提供もしている。最近では、米が設計、製造した初の巨大液体燃料ロケットエンジンであるRS-68の開発、打上げを行った。ボ社統合防衛システム部門のローンチ・アンド・オービット・システム部門に属していた2004年は売上約7億ドルを計上している。

の紹介やOICETS、ドニエプルロケット、HSFD後継計画やOTV構想などを紹介。

2005年2月28日 0:00 【航空宇宙情報】ジェダイ・メール

JAXA など、衛星を用いたアジア大学間での双方向マルチメディア教育実験

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20050222-00000018-inet-sci>

谷津田:霞ヶ浦流域、衛星画像で調査——JAXAとNPO法人/茨城

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20050223-00000060-mailo-108>

ロケット燃料に含まれる有毒な化学物質:EPAがガイドライン

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/technology/story/20050223302.html>

約3万年前の細菌が復活 アラスカの永久凍土で発見

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20050224-00000082-kyodo-soci>

ものづくり:空を飛ばしたい

県立一宮工・掛布君、夢実現へ航空機メーカー就職/愛知

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20050224-00000003-mailo-123>

ディスカバリー搭乗の野口さん、船外活動の予行演習

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20050225-00000202-yom-int>

カナダ「MD不参加」 マーティン首相表明、米と関係再び悪化も

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20050225-00000029-san-int>

H2A ロケット 多目的衛星分離、打上げ成功

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20050227-00000000-maip-soci>

2005年2月25日 18:31 WIRED NEWS (2005/02/25)

個人情報漏洩が懸念される『RFID』タグ内蔵パスポート

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/20050225202.html>

米政府は『RFID』タグ内蔵パスポート発行を計画しているが、氏名、生年月日、写真などの個人情報につき暗号化は行なわないとしており、情報漏洩が懸念されている。米政府は、ビザ無しで米に入国でき

る27カ国すべてに対し、同種パスポートの発行を10月までに開始要請しているため、この問題には他国からも反論が出ている。

2005年2月26日 22:40 日刊航空通信CLIP(号外)

H2Aロケット7号機、打上げ成功！！

JAXAは26日午後6時25分、運輸多目的衛星(MTSAT-1R)を搭載したH2Aロケット7号機を打上げ、発射約40分2秒後に同衛星を分離、打上げに成功。打上げ後に行われた記者会見で、JAXA三戸理事は「クイックレビューの結果、MTSAT-1Rを所定軌道に投入できたと推測できる」と語った。

<記者会見冒頭挨拶(概要抜粋)>

▽立川JAXA理事長＝無事成功して何よりと思っている。今回の成功は、文科省、国交省、宇開委員会などのご支援の結果であり、また、三菱重工業を始めとする関係企業の一致協力した成果の賜物だと思う。

<質疑応答(概要・抜粋)>

◇成功の要因は？＝1年3ヵ月に及ぶ総点検で人事を尽くし、一丸となって努力したことが実を結んだと思う(立川理事長)、

◇国際的な信頼を取戻せたか？＝今回の成功はまず1歩。今後も引締めて行いたい(立川理事長)、

=====

【日刊航空通信 編集後記】

「衛星分離」のアナウンスが流れたとき、立川理事長、三戸理事、園田企画主任など関係者の顔がほころんだ。記者会見でも、誰もが「ホッとした」と心境を語った。

前回の打上げ失敗から1年3ヵ月の間、JAXAは技術的な問題の他、組織文化の問題も指摘され、多くの関係者が苦しんだ。官民役割分担が成立したのも、JAXAが自らの限界を明らかにしたからである。ここまで追込まれ、それでも踏みとどまって、JAXAは今回の打上げに挑んだ。河内山ロケット主任が「衛星分離」のアナウンスを聞い

▽井口宇宙開発委員長＝前回の失敗の後、今度、どういう方針で打上げに挑むか議論した際、「人事を尽くして天命を待つ」という結論に至った。種子島に来て関係者の表情を見ると、皆に全力を尽くしたという満足感が浮かんでいた。今回の成功に対し、関係者の方々に賛辞とお祝いを申し上げたい。そして、今後は「100%の成功」に向かって努力していきたいと思う。その実現に向けて、まずは**13機の連続打上げ成功**を目指す。13機連続して打上げに成功すれば、H2Aロケットは20回の内19回成功したことになり、諸外国ロケットの成功率(95%)と並ぶことになる。

◇◇SRB-Aなどの設計変更の成果は？＝H2Aロケットの飛行経路が計画値に近いので、各種設計変更には成功したと思う(三戸理事)

たときの心境を語ったとき、目に涙を浮かばせていたのは、これまでが如何に辛い日々だったかを物語っていた。JAXAの皆さま、打上げ成功、本当におめでとうございました。メーカ、行政の皆さま、本当におめでとうございました。そして、そして、本当にありがとうございます。今回の打上げ成功を見て、総力を結集すれば何でもできる！という事実そして元気を頂きました。本当に、おめでとうございます、ありがとうございます。

[国際関係・一般]

西川恵のグローバル・アイ＝ミサイル防衛「不参加」カナダ「独自性探し」進む

毎日新聞 05年02月28日 朝刊 8面 5段 1531

ミサイル防衛構想 カナダ不参加 配備遅れの米国に打撃

産経新聞 05年02月26日 朝刊 6面 3段 0918

米ミサイル防衛 カナダが不参加

読売新聞 05年02月26日 朝刊 7面 1段 0457

米国ミサイル防衛構想 カナダ「不参加」

東京新聞 05年02月26日 朝刊 7面 4段 1029

米国 海上配備型迎撃ミサイル実験成功

毎日新聞 05年02月26日 朝刊 7面 1段 0566

米ミサイル防衛庁 イージス艦発射迎撃実験に成功

産経新聞 05年02月26日 朝刊 6面 1段 0922

大野防衛庁長官 米軍普天間飛行場の移設計画 辺野古以外可能性も

朝日新聞 05年02月26日 朝刊 4面 1段 0323

[宇宙・航空・科学]

「H2A」成功で宇宙航空研究開発機構 補助ロケット推力増強

2006年度実施めざす

日本経済新聞 05年02月28日 朝刊 21面 5段 写表 1762

H2A ハードル高い商業化 信頼性向上・コスト削減課題に 成功の継続がカギ

日刊工業新聞 05年02月28日 朝刊 35面 6段 写 0145

社説＝H2Aロケット 「成功」の積重ねが信頼生む

日刊工業新聞 05年02月28日 朝刊 3面 3段 0026

社説＝H2A、信頼回復まだ一歩

日本経済新聞 05年02月28日 朝刊 2面 3段 1696

ルポルタージュ＝「H2A」打上げ 日の丸宇宙開発薄氷の再出発 事業成功なお道遠く

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年02月28日 朝刊 36面 5段写 2526

H2A補助ロケット回収へ 引揚げ可能か検討

朝日新聞 05年02月28日 朝刊 38面 4段 1276

多目的衛星「MTSAT1R」 来月8日にも静止位置に到着

産経新聞 05年02月28日 朝刊 30面 2段 1932

運輸多目的衛星 静止軌道へ1回目エンジン噴射終了

読売新聞 05年02月28日 朝刊 38面 1段 1436

H2A打上げ成功 宇宙開発・利用が再始動

日刊工業新聞 05年02月28日 朝刊 1面 4段 写 0004

H2A打上げ成功 失敗から1年3か月 多目的衛星分離

朝日新聞 05年02月27日 朝刊 1面 5段 写図 1166

H2A打上げ成功 「ひまわり」後継 衛星を分離 宇宙開発空白の1年3か月

読売新聞 05年02月27日 朝刊 1面 5段 写図 1291

H2A打上げ成功 技術・組織改革が結実 厳しいビジネスの前途 民営化前に冷える市場

毎日新聞 05年02月27日 朝刊 3面 6段 写 1459

H2A打上げ成功 商業衛星市場足がかり 「民営」へ転換加速 三菱重工 第1号、2006年度めざす

日本経済新聞 05年02月27日 朝刊 3面 6段 写図表 1610

H2A打上げ成功 衛星を軌道に投入 失敗から1年3カ月ぶり

中国新聞 05年02月27日 朝刊 1面 6段 写 2302

H2A打上げ成功 7号機 信頼回復の一步

産経新聞 05年02月27日 朝刊 1面 5段 写 1794

H2A打上げ成功 細かな気象観測へ

フジサンケイビジネスアイ 05年02月27日 朝刊 19面 3段 図 2124

H2A打上げ成功 重圧解け笑顔と安ど 技術陣 目潤ませ固い握手 「確信もっていた」

西日本新聞 05年02月27日 朝刊 39面 6段 写 2345

H2Aロケット打上げ成功 関係者ら背水の陣 継続へ表情引き締め 肩抱合い「良かった」

中日新聞 05年02月27日 朝刊 39面 4段 2299

H2Aロケット打上げ 「民間の熱意」結集 重圧はねのけて 「よく踏みとどまった」

産経新聞 05年02月27日 朝刊 31面 7段 写図表 1860

H2A打上げ 技術的威信守る 多分野へ応用可能

読売新聞 05年02月27日 朝刊 10面 2段 1330

H2A打上げ 間際の中断に緊迫 衛星分離、やっと笑顔

朝日新聞 05年02月27日 朝刊 39面 4段 1224

H2A打上げ 網渡り気象観測解消へ 気象庁も安堵 衛星分離に拍手

東京新聞 05年02月27日 朝刊 31面 4段 写 1992

宇宙航空研究開発機構 H2A打上げ成功 多目的衛星を分離 失敗から1年3カ月 設計変更が奏功

毎日新聞 05年02月27日 朝刊 1面 7段 写図 1447

宇宙航空研究開発機構 H2A成功 土俵際意地見せ涙 信頼に応えた技術陣

毎日新聞 05年02月27日 朝刊 31面 4段 写 1506

宇宙航空研究開発機構 H2A打上げ成功 失敗から1年3カ月 後継の気象衛星軌道に

日本経済新聞 05年02月27日 朝刊 1面 4段 写 1595

宇宙航空研究開発機構 H2A打上げビジネス化へ残る課題

フジサンケイビジネスアイ 05年02月27日 朝刊 1面 4段 写 2067

種子島宇宙センタ H2A打上げ成功 運輸多目的衛星を投入 気象観測5月から

西日本新聞 05年02月27日 朝刊 1面 7段 写 2325

気象庁、大きな拍手響く H2A打上げ 「子供の受験より緊張」 2年ぶり「自前観測へ」

日本経済新聞 05年02月27日 朝刊 39面 4段 写 1677

社説＝H2A成功 復活への足がかりが得られた

読売新聞 05年02月27日 朝刊 3面 3段 1305

社説＝H2A成功 信頼性向上へ努力を

毎日新聞 05年02月27日 朝刊 5面 4段 1463

社説＝H2A成功 信頼回復へ一步前進だ

北海道新聞 05年02月27日 朝刊 2面 3段 2245

社説＝H2A打上げ これを機に信頼回復図れ

西日本新聞 05年02月27日 朝刊 6面 3段 2330

時時刻刻＝H2A打上げ成功 安堵の先 課題山積 出遅れ目立つ日本

朝日新聞 05年02月27日 朝刊 2面 5段 写図 1172

スカパー＝H2A成功 「信頼の上昇」なお陰し

読売新聞 05年02月27日 朝刊 3面 8段 写図 1303

主張＝H2Aロケット打上げ成功 さらなる努力を重ねたい

産経新聞 05年02月27日 朝刊 2面 3段 1798

焦点FOCUS＝H2A打上げ成功 国産ロケット命脈保つ

国際競争力には遠く 宇宙機構の体質改善課題

西日本新聞 05年02月27日 朝刊 3面 6段 写 2329

気象衛星綱渡り解消へ 「自前」復活 観測能力大幅アップ

航空管制の役割も 地上と交信精度高まる

西日本新聞 05年02月27日 朝刊 38面 5段 図 2344

三菱重工業 H2A打上げへ抱負 「今回は総力戦」

中日新聞 05年02月26日 朝刊 11面 3段 1025

鹿児島・種子島 H2Aロケット今夕打上げ

西日本新聞 05年02月26日 朝刊 38面 2段 1162

ハイブリッド・ロケット 赤平市で燃焼実験 新型エンジン滑出し好調

北海道新聞 05年02月26日 朝刊 3面 2段 写 0927

H2Aきょう打上げ 1年3カ月ぶり 多目的衛星搭載

毎日新聞 05年02月26日 朝刊 3面 2段 0542

「H2A」きょう打上げ ひまわり5号後継衛星 宇宙開発の正念場

フジサンケイビジネスアイ 05年02月26日 朝刊 23面 3段 1204

宇宙航空研究開発機構 H2A、きょう打上げ

日本経済新聞 05年02月26日 朝刊 42面 3段 0842

宇宙航空研究開発機構 H2Aきょう打上げ

産経新聞 05年02月26日 朝刊 28面 1段 0984

宇宙航空研究開発機構 H2A きょう打上げ

東京新聞 05年02月26日 朝刊 26面 2段 1079

おうし座DH星 褐色わい星発見

毎日新聞 05年02月26日 朝刊 11面 1段 0597

[\[宇宙利用・宇宙からの観測・宇宙環境利用・宇宙実験\]](#)

5月15日打上げ再開シャトルに搭乗 野口聡一さんが宇宙遊泳訓練 水中で本番そのままに

フジサンケイビジネスアイ 05年02月26日 朝刊 23面 4段 写 1203

チャイム＝スペースシャトル、ディスカバリーで船外活動を行う予定 野口聡一さんらが宇宙遊泳訓練

産経新聞 05年02月26日 朝刊 31面 1段 写 0997

[\[防災・環境・資源・エネルギー\]](#)

危機管理／コンプライアンス＝エフシージー総合研究所 山本ヒロ子 JALグループの危機管理

フジサンケイビジネスアイ 05年02月28日 朝刊 21面 7段 2211

[技術・産業]

東京エレクトロデバイス 高速評価ボード開発 ザイリンクスとエルピーダメモリ協力

電波新聞 05年02月28日 朝刊 6面 3段 写 0195

沖電気工業が米シノプシスのHSPICE高耐圧MOSモデルを標準採用

電波新聞 05年02月28日 朝刊 6面 3段 0200

情報通信研究機構 電子機器から漏えいする電波の3次元可視化技術 仙台で成果発表会

電波新聞 05年02月28日 朝刊 12面 3段 写 0225

新科産業 超音波洗浄機発売

フジサンケイビジネスアイ 05年02月28日 朝刊 16面 1段 写 2202

仏ダッソー・システムズと図研 PLM事業で提携 新システム開発 電機・電子機器、開発を効率化

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年02月28日 朝刊 17面 4段表 2415

ファインセラミックスセンタ セラミックスコーティング開発 遮熱温度セ氏1400度

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年02月28日 朝刊 21面 3段写 2443

日野自動車と日本SGI シミュレータ開発 商用車の安全装置体験 衝突回避システムなど

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年02月28日 朝刊 25面 4段写 2451

[通信・放送・IT]

ノキアがアルゼンチンの携帯事業者から GSM／EDGE無線ネットワーク受注

電波新聞 05年02月28日 朝刊 2面 1段 0181

座談会 「電子薬歴の現状と将来展望」 医療分野も電子化の流れ

薬事日報 05年02月28日 朝刊 5面 5段 写 0786

NTTドコモ九州 きょう打上げ予定のH-2Aロケット7号機 TV電話でライブ中継

電波新聞 05年02月26日 朝刊 12面 1段 0073

楽天イーグルス 地元地域FM「じょんぱ」 公式戦の放送計画固まる

ホームの全試合、観客向けライブ

河北新報 05年02月25日 朝刊 25面 3段 表 1276

[経営・人]

三菱重工・浅田正一郎さん H2A成功 “ロケット野郎”ホッ 「総力戦で頑張った」

読売新聞 05年02月27日 朝刊 38面 4段 写 1354

宇宙航空研究開発機構の立川敬二理事長 H2A打上げ 「信頼回復へ一歩」 コスト削減課題

日本経済新聞 05年02月27日 朝刊 5面 3段 写 1630

炭素繊維 本格的な成長期へ 東レ 上浦正義

東邦テナックス 青山年宏 三菱レイヨン 渡辺正信

日本繊維新聞 05年02月28日 朝刊 7面 7段 写図表 0820

Q&A=ニッポン放送株 商法改正案で買収防衛策盛る 株主決議ハードル高く

日本経済新聞 05年02月26日 朝刊 11面 3段 0720

日本経団連 奥田碩会長がエール 「H2A成功を」

中日新聞 05年02月25日 朝刊 9面 1段 1300

関西国際空港会社 村山敦社長 「中部国際空港脅威でない」 初の黒字に自信

西日本新聞 05年02月25日 朝刊 8面 3段 写 1392

[航空輸送・エアライン]

バンコク新空港 開港半年遅れ 運営会社表明

日本経済新聞 05年02月28日 朝刊 7面 2段 1726

中国 「祝日便」の実現を台湾側に提案へ

毎日新聞 05年02月26日 朝刊 7面 1段 0571

中台チャーター便 中国が祝日運航提案

日本経済新聞 05年02月26日 朝刊 8面 3段 0700
